

施策評価(令和元年度)

1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	33	下水道
基本方針		
安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
下水道ストックマネジメント計画の策定	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
汚水管などの長寿命化事業	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
雨水管の整備	計画を見直し完了	A	A	A	現状のまま継続
災害時マンホールトイレの整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
公営企業会計への移行	計画どおり完了	A	A	A	完了
羽村駅西口土地区画整理事業地区の公共下水道の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策33「下水道」では、6事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「下水道ストックマネジメント計画の策定」などの5事業は、「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。「雨水管の整備」については、東京都との調整により、工期に変更が生じたため、「計画を見直し完了」としている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)として評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努める」ことであり、「下水道ストックマネジメント計画の策定」では、令和2年度の策定に向け、業務委託契約を行い、検討を進めているほか、「汚水管などの長寿命化事業」では、下水道マンホール蓋更新計画(長寿命化基本計画)に基づき計画的な施設の更新に努め、「災害時マンホールトイレの整備」については、地域防災期計画に基づき、福祉避難所への設置を進めた。</p> <p>また、「公営企業会計への移行」においては、公営企業会計への移行に伴う資産調査、評価及び準備、企業会計システムへのデータ登録作業が完了し、公営企業会計システムの本稼働が開始されており、上記の取組みを通じ、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>

1.基本項目	作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 下水道ストックマネジメント計画の策定	令和 1 年	長期総合計画終了迄	自治事務	業務委託(全部)	
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課					
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	33	下水道	管理No.	1

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心なすみよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	下水道管渠等について、長期的な視野で計画的に点検・調査を行い、計画的な補修を行うための実施方針や改修計画などのストックマネジメント計画を策定し、財源の平準化を図り適切な維持管理の実施に努めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	平成32年度までの長寿命化計画の延伸計画の策定	下水道ストックマネジメント計画の検討	下水道ストックマネジメント計画の策定	

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240H	1人	240H	1人	240H	人	H
主事・主任職	1人	240H	1人	240H	1人	240H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	-	4,468	8,672	-
人件費(係長職)	1,154	1,154	1,154	
人件費(主任・主事職)	758	758	758	
総事業費(合計)	1,912	6,380	10,584	
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,912	6,380	10,584	
財源内訳(合計)	1,912	6,380	10,584	

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 34,466 円
 イ 対象者 55,565 人における1人あたりのコストは、 34,466 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

【下水道ストックマネジメント計画策定業務委託】
 契約: 令和元年8月1日・工期: 令和元年8月2日～令和3年2月26日

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	4,468	▲ 398	4,070	4,070	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240 H	1人	240 H
主事・主任職	1人	240 H	1人	240 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○下水道ストックマネジメント計画の検討		○下水道ストックマネジメント計画の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要)当(性)性 <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法)率(性)性 <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果)効(性)性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うための財源となる、社会資本整備総合交付金及び都補助金を獲得するためには、本計画の策定が必須条件となることから、令和2年度の策定に向けて令和元年度から2か年事業で実施することとしている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

公共下水道管渠等について、計画的に点検・調査及び補修等の実施方針や改修計画などの下水道ストックマネジメントを策定し、財源の平準化を図り適切な維持管理を進めて行く。

1.基本項目	作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 汚水管などの長寿命化事業	不明	年	継続	自治事務	業務委託(全部)
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課					
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	33	下水道	管理No.	2

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心なすみよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	「羽村市下水道総合計画」、「公共下水道マンホール蓋更新基本計画(長寿命化基本計画)」に沿い、TVカメラを活用した汚水管の点検やマンホール蓋の更新など、予防保全型の維持管理を計画的に行うことで、下水道施設の長寿命化を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	マンホール蓋の更新 100箇所	同左 100箇所	同左 100箇所	同左 100箇所
	汚水管の長寿命化 汚水管TVカメラ調査委託 20.0km	同左 2.1km	同左 20.0km	同左 20.0km
	汚水管内面補修工事 20.0km	同左 20.0km	同左 2.1km	同左 20.0km

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240H	1人	240H	1人	240H	1人	240H
主事・主任職	1人	480H	1人	480H	1人	480H	1人	480H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	152,161	119,716	83,337	154,864
人件費(係長職)	1,154	1,154	1,154	1,154
人件費(主任・主事職)	1,515	1,515	1,515	1,515
総事業費(合計)	154,830	122,385	86,006	157,533
国庫支出金	9,350	9,600	9,600	9,600
都支出金	467	480	480	480
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	145,013	112,305	75,926	147,453
財源内訳(合計)	154,830	122,385	86,006	157,533

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	50,167	円
イ 対象者	55,565	人における1人あたりのコストは、	50,167	円
ウ 成果(物)		の 出来高		における1
※ 対象者:				のコストは

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

<p>【マンホール蓋の更新】 【長寿命化更新工事】 契約: 令和元年11月7日・工期: 令和元年11月8日～令和2年2月28日</p> <p>【污水管の長寿命化】 【污水管TV調査】 契約: 令和元年6月25日・工期: 令和元年6月26日～令和2年8月7日</p> <p>【污水管内面補修工事】 契約: 令和元年8月5日・工期: 令和元年8月6日～令和2年2月28日</p>

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	119,716	▲ 432	119,284	111,833	93.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240 H	1人	240 H
主事・主任職	1人	480 H	1人	480 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<p>○マンホール蓋の更新 100箇所 ○污水管TVカメラ調査委託 2.1km ○污水管内面補修工事 20.0km</p>		<p>○マンホール蓋の更新 100箇所 ○污水管TVカメラ調査委託 2.1km ○污水管内面補修工事 20.0km</p>

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
<p>妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	A
<p>効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	A
<p>有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった</p>	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

污水管やマンホール蓋の更新を適切に実施することで、公共下水道の維持管理に寄与できた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

下水道マンホール蓋更新計画(長寿命化基本計画)における、平成30年度から令和2年度までの更新計画に基づき、継続的に耐用年数が経過しているマンホール蓋347箇所の更新を進めて行く。

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道設備課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法
00 雨水管の整備		不明	年	継続	自治事務
					業務委託(全部)
01			年		
02			年		
03			年		
04			年		
05			年		
関連課					
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	33	下水道	管理No. 3

2.事業の概要

施策の 基本方針	安全で安心なすみよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	局地的な豪雨などへの雨水対策として公共下水道雨水管の整備を行います。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	雨水管整備計画の策定			
	多摩川第6排水分区等雨水管布設工事実施設計	多摩川第6排水分区雨水管布設工事 市道2004号線工事	多摩川第6排水分区雨水管布設工事 市道3035・3044号線工事	多摩川第8排水分区雨水管布設工事 市道3002・3014号線工事
	多摩川第8排水分区雨水管布設工事 市道2017、2022号線工事	都道第29号立川青梅線(奥多摩街道)雨水管布設工事		
	羽西一丁目雨水管布設工事			
	整備率54.8%	整備率54.8%	整備率54.9%	整備率55.0%

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240H	1人	240H	1人	240H	1人	240H
主事・主任職	1人	240H	1人	240H	1人	240H	1人	240H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	72,425	31,290	16,304	25,674
人件費(係長職)	1,154	1,154	1,154	1,154
人件費(主任・主事職)	758	758	758	758
総事業費(合計)	74,337	33,202	18,216	27,586
国庫支出金				
都支出金	465			
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	73,872	33,202	18,216	27,586
財源内訳(合計)	74,337	33,202	18,216	27,586

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	34,949	円
イ 対象者	55,565	人における1人あたりのコストは、	34,949	円
ウ 成果(物)		の 出来高		における1
※ 対象者:				のコストは

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

【令和元年度羽村市公共下水道多摩川第6排水分区雨水管布設工事】
 契約: 令和元年10月1日・工期: 令和元年10月2日～令和元年12月27日

【都道第29号立川青梅線(奥多摩街道)雨水管布設工事(負担金)】
 実施協議: 令和元年7月30日・工事期間: 令和元年7月～令和2年1月
 実施協議(変更): 令和2年1月31日・工事期間(変更): 令和元年7月～令和2年6月

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	31,290	▲ 5,066	26,224	15,928	60.7%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240 H	1人	240 H
主事・主任職	1人	240 H	1人	240 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○公共下水道多摩川第6排水分区雨水管布設工事 ○都道第29号立川青梅線(奥多摩街道)雨水管布設工事(負担金) 【整備率 54.8%】		○公共下水道多摩川第6排水分区雨水管布設工事 ○都道第29号立川青梅線(奥多摩街道)雨水管布設工事(負担金)(令和2年6月まで工期延伸) 【整備率 54.8%】

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

東京都と羽村市による協定に基づき実施している、都道第29号立川青梅線(奥多摩街道)雨水管布設工事(負担金)については、東京都と関係機関等との調整により工事期間が延伸となったが、雨水管を整備することで、安全で安心な住みよいまちづくりに貢献できる。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

平成27年度に事業認可を受けた平成28年度からの5か年計画の雨水管整備が令和2年度をもって期間満了となるため、平成30年度に新たに5か年の整備計画を策定し、令和2年度に事業計画変更認可を得て計画的に雨水管の整備を継続して行く。

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道設備課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法
00 災害時マンホールトイレの整備			継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)
01					
02					
03					
04					
05					
関連課	防災安全課				
基本目標4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	33	下水道	管理No. 4

2.事業の概要

施策の 基本方針	安全で安心なすみよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業 内容	災害時の福祉避難所となる公共施設に仮設トイレ用汚水柵を設置します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	災害時仮設トイレ用 汚水柵設置工事	同左	同左	
	東児童館 4基	いこいの里 5基 ・工事	西児童館 5基 (設置場所公園内) ・実施設計 ・工事	
	平成32年度の設置場所決定	平成33年度以降の設置 場所検討	同左 ※検討内容により、事業費 を算出	検討内容の反映

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	20H	1人	20H	1人	20H	人	H
主事・主任職	1人	40H	2人	40H	2人	40H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	5,670	8,100	9,398	-
人件費(係長職)	97	97	97	
人件費(主事・主事職)	127	253	253	
総事業費(合計)	5,894	8,450	9,748	
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	5,894	8,450	9,748	
財源内訳(合計)	5,894	8,450	9,748	

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	6,418	円
イ 対象者	55,565	人における1人あたりのコストは、	6,418	円
ウ 成果(物)		の 出来高		における1
※ 対象者:				のコストは

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

【災害時仮設トイレ用汚水柵設置工事 いこいの里】
 契約: 令和元年7月24日・工期: 平成元年7月25日～令和元年9月6日

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	8,100	▲ 1,296	6,804	6,804	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	20 H	1人	20 H
主事・主任職	2人	80 H	1人	40 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○いこいの里 5基		○いこいの里 5基

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

災害時に有効な施設となるマンホールトイレ用の汚水柵を設置することで、安全で安心な住みよいまちに必要な整備を行うことができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

羽村市地域防災計画に基づき、平成28年度からは、災害時に福祉避難所となる施設への設置を進めており、引き続き「西児童館(あかしあ児童公園内)」に設置を計画している。

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道業務課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法
00 公営企業会計への移行		平成 28 年	その他	自治事務	業務委託(一部)
01					
02					
03					
04					
05					
関連課					
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	33	下水道	管理No. 5

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	地方公営企業法の規定に基づき、令和2年度から公営企業会計に移行し、経営成績や財政状態を把握することで、事業を計画的・効率的に実施し、施設整備の選択や工事コストの縮減に努め、安定的な運営と一層の経営の健全化を図ります。
根拠法令	地方公営企業法
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	公営企業会計への移行に伴う資産調査・評価及び準備	公営企業会計への移行に伴う準備	公営企業会計への移行	
	公営企業会計システム導入	公営企業会計システム運用	同左	同左
	例規等の整備	同左		

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	108 H	1人	108 H	1人	120 H	1人	120 H
主事・主任職	1人	108 H	1人	108 H	1人	120 H	1人	120 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	13,275	13,574	420	420
人件費(係長職)	520	520	577	577
人件費(主任・主事職)	341	341	379	379
総事業費(合計)	14,136	14,435	1,376	1,376
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	14,136	14,435	1,376	1,376
財源内訳(合計)	14,136	14,435	1,376	1,376

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 260 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

地方公営企業法への移行に必要な下記の業務を実施し、移行事務が完了となった。

- ① 関係部署(財政課、総務課、職員課、契約管財課)との事務負担等に係る協定書等の締結
- ② 関連する例規の改正
- ③ 固定資産台帳の整備等の作業
- ④ 企業会計システムへのデータ登録作業及びシステム稼働
- ⑤ 金融機関と公金の取扱いについての契約書締結
- ⑥ 羽村市下水道事業特別会計の出納を閉鎖(打ち切り決算)し、会計管理者から下水道事業に係る出納事務の引き継ぎ
- ⑦ 地方公営企業法の適用に関する届出書を東京都、税務署、総務省に提出

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	13,574	-	13,574	13,565	99.9%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	108 H	1人	342 H
主事・主任職	1人	108 H	1人	148 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○公営企業会計への移行に伴う資産調査、評価及び準備 ○公営企業会計システムの運用 ○例規等の整備		○公営企業会計への移行に伴う資産調査、評価及び準備が完了 ○企業会計システムへのデータ登録作業が完了し、公営企業会計システムの本稼働を開始 ○関連する例規の改正

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るためには、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理が重要となる。今後とも、公営企業の経営基盤の強化や財政マネジメントの向上等に的確に取り組むため、公営企業会計の運用により、安定的な事業運営と経営の健全化を図る。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道設備課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法
00	羽村駅西口土地区画整理事業地区の公共下水道の整備	年	継続	自治事務	業務委託(全部)
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課	区画整理推進課、区画整理総務課				
	施策区分	33	下水道	管理No.	6

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心なすみよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	土地区画整理事業の進捗状況にあわせ、公共下水道の整備を行います。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	羽村駅西口土地区画整理事業の進捗にあわせた公共下水道整備工事	同左	同左	同左
	区画道路第10、11号東排水区雨水管布設工事	区画道路第13号東排水区雨水管布設工事		

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	17,312	8,487	-	-
人件費(係長職)	49	49	49	49
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	17,361	8,536	49	49
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	17,361	8,536	49	49
財源内訳(合計)	17,361	8,536	49	49

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

【工事に関する業務委託】
 契約: 令和元年5月20日・工期: 令和元年5月21日から令和2年3月13日

【13号雨水管布設工事】(川崎一丁目エリア)
 契約: 令和元年7月22日・工期: 令和元年7月23日から令和2年2月20日

③投入実績

決算の内訳 (単位: 千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	8,487	-	8,487	7,068	83.3%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10 H	1人	10 H
主事・主任職	人	H	1人	H

④事業量(活動量)

実施計画 ○羽村駅西口土地区画整理事業の進捗にあわせた公共下水道整備工事 ○区画道路第13号東排水区雨水管布設工事	⇒	今年度実績 ○羽村駅西口土地区画整理事業の進捗にあわせた公共下水道整備工事 ○13号雨水管布設工事
--	---	--

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要)性 <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法)率性 <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果)効性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

公共下水道を適切に維持管理するため、羽村駅西口土地区画整理事業にあわせて、効率的に公共下水道の雨水管整備事業を実施した。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

羽村駅西口土地区画整理事業の進捗にあわせて、公共下水道の雨水管整備を実施して行く。